

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公表番号】特表 2018-517577 (P2018-517577A)

【公表日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2017-562038 (P2017-562038)

【国際特許分類】

B 2 5 B 21/00 (2006.01)

F 1 6 D 41/08 (2006.01)

F 1 6 D 41/18 (2006.01)

【F I】

B 2 5 B 21/00 5 2 0 B

F 1 6 D 41/08 Z

F 1 6 D 41/18 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動プレートの第 1 端部におけるピストン係合手段と、駆動プレートの第 2 端部における径方向鋸歯を備えた加工済みフェースギヤとを有する、駆動プレートと、

ラチェット駆動器の第 1 端部における対応する径方向鋸歯を備えた加工済みフェースギヤと、ラチェット駆動器の第 2 端部における螺条付き締結具係合手段とを有する、ラチェット駆動器とを含む、締結具を締め又は緩めるトルク工具においてトルクを伝達する装置。

【請求項 2】

前記トルク工具の前記駆動プレートと側部プレートとの間に形成された波形スプリングを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記トルク工具の前進ストロークの間において、前記駆動プレート及び前記ラチェット駆動器の対応する夫々の径方向鋸歯は、前記波形スプリングからの荷重下で噛合し、前記螺条付き締結具を締め又は緩める、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記トルク工具の後退ストロークの間において、前記駆動プレート及び前記ラチェット駆動器の対応する夫々の径方向鋸歯は、噛合解除されると共に、相互を通過して滑動する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記駆動プレートは、前記駆動プレートの前記第 1 端部から前記駆動プレートの前記第 2 端部までテーパ付けされる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

リンク駆動手段内に、且つ、該リンク駆動手段の第 1 の側部プレートと第 2 の側部プレート間に形成された、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の装置を有する、締結具を締め又は緩めるデバイス。

【請求項 7】

前記リンク駆動手段の各側部プレートは、前記螺条付き締結具係合手段の近傍の第 2 端部における前記リンク駆動手段の幅が、ピストン係合手段の近傍の第 1 端部における前記リンク駆動手段の幅よりも実質的に薄寸であるように、前記第 1 端部から前記第 2 端部までテーパ付けされる、請求項 6 に記載のデバイス。